

## 太陽光発電パブリックアートによる神戸ビエンナーレ2011へのエネルギー供給について

当社(社長:木村 康)は、10月1日～11月23日に開催される神戸ビエンナーレ※1・芸術祭(主催:神戸ビエンナーレ組織委員会・神戸市、場所:神戸市ポニーアイしおさい公園)において、太陽光発電パブリックアートを設置し、会場内の電力の一部を供給しますので、お知らせいたします。

太陽光発電パブリックアートとは、道路や公園などの公共空間(パブリックスペース)に設置されるアート作品に、太陽光発電システムを組み合わせることで、街並みと調和し、景観を豊かにしながらエネルギーを供給するシステムです。

今回、設置する作品は、2010年度に開催した「ENEOS太陽光発電パブリックアートコンテスト」※2の優秀作品の中から、本芸術祭のテーマ「アートを活かしたまちづくり」に沿って選定し、製作・設置するものです。

当社は、総合エネルギー企業として、あらゆる分野における新エネルギーへの取組みを通じ、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 神戸市が2年に1度開催する芸術文化の祭典。

※2 今年度は、太陽光発電の特徴による空間の再生をテーマに「第2回 ENEOS新エネルギーアワード 太陽光発電‘Reコンテスト’」《<http://www.eneos-re-contest.jp>》として開催しております。

### 記

#### 《作品概要》

- ・作品名 : SOLAR-OUTLET
- ・作者 : 大成建設(株) 設計本部 毛塚順次様
- ・コンセプト : 「太陽のある空は、身近で無限のエネルギー源。神戸ビエンナーレ会場の空に、突如現れた巨大なコンセントと巨大なプラグから 太陽エネルギーが供給される。アート×エネルギー。従来、調和し得なかった組み合わせが、太陽光発電により実現する。」
- ・太陽光発電出力 : 約2.4kW



20110930\_01\_02\_0940108.jpg

以上